



不易と流行

校長 相馬 美智枝

「不易流行」という熟語があります。「不易」とは、「時代を超えても変わらないもの」、「流行」とは「時代の変化とともに変えていく必要のあるもの」という意味で、松尾芭蕉の言葉として伝えられています。(実際には芭蕉自身が書き残したのではなく、弟子が書いたものの中に、芭蕉の言葉として残されているそうです。松尾芭蕉は、俳諧上達の秘訣を聞かれ、「過去の自分に飽きることだ。」と答えたそうです。常に努力を重ねつつ、さらに新境地を切り開いていこうとするからこそ、そこに進歩があり、物事の根本・本質により近づけるとの考えです。「不易を知らざれば基立ち難く、流行を知らざれば風新たに成らず。」とあり、「不易流行」は「不易＝永遠に変わらないこと」も「流行＝変わり続けること」もどちらも大切で、基は一つであると述べています。

教育現場で「不易流行」がよく使われるようになったのは、1997年中央教育審議会答申(二十一世紀を展望した我が国の教育の在り方について)からであると思います。その中で不易とは「どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変わらない価値のあるもの」であり、流行とは「社会の変化に関心をもち、時代の変化とともに変えていく必要があるもの」と示されています。当時の教育改革のキーワードは、「生きる力とゆとりある教育活動」でした。中堅教師だった私は、「社会の変化の激しい時代だからこそ目の前の事象(流行)に踊らされるのではなく、不易の教育を進めていく必要がある」という言葉に納得し、時代の流れ、社会の要請に応じた教育の大切さを理解しながらも、自分の中では「不易」が大きな比重を占めていました。

しかしながら、かつてない大きな社会の変革期を迎え、今改めてこの芭蕉の言葉について考えたとき、「流行不易」～「流行」にも重きを置き、学校は外部環境の変化に主体的に適応していかなければならないことを強く感じています。文部科学省が進める「GIGAスクール構想」の取組により、全児童分のクロームブックが配備され、これまでの実践にICTを組み合わせることで、教育の質の向上につなげていくことができます。明德小学校の子どもたちも、クロームブックを効果的に活用して、自分たちの学びを充実させています。

「強い者、賢い者が生き残るのではない。変化できる者が生き残るのだ。」

進化論で有名なダーウィンの言葉です。

私たち教職員も変えること、変わることを恐れずに、今の時代に必要な教師の資質・能力の向上にこれまで以上に努めてまいります。

8・9月の学校日記

《避難訓練・防災教室》

9月7日（水）に、地震を想定した避難訓練を清掃時間に行いました。子どもたちには、この日の避難訓練がいつなのか知らせていませんでしたが、普段と違う状況の中でも、放送内容をしっかり聞き、適切に判断して、短い時間でグラウンドへ避難することができました。

3校時目には、美瑛町役場総務課危機対策室危機対策係の大畑さんによる防災教室を行いました。4年前に起きた胆振東部地震を基に、自分の身を守る方法・落ち着いて行動することの大切さ・普段からの備えについて詳しくお話ししていただきました。

後半は、4つのグループに分かれて防災カルタを楽しみ、学習を深めました。

今回の避難訓練と防災教室を通して、子どもたちの防災への意識が高まることを期待しています。



《秋の環境整備作業》

9月12日（月）、午前8時から、PTA主催による『秋の環境整備作業』を行いました。各行政区からも2名ずつお手伝いをいただき、草刈りや枝払い、グラウンドの草取りなどの作業を行いました。緊急事態宣言下での作業だったため、感染対策をした中で短時間での作業となりました。子どもたちは、とてもきれいな環境の中で学習活動を進めることができます。本当にお忙しい中、ご協力してくださり、ありがとうございました。



《少年団 秋の資源回収》

9月23日（金）、明德少年団・明德小学校 PTA 合同の秋の資源回収を早朝より実施いたしました。少年団役員・保護者・地域の皆様のご協力をいただき、無事に終わることができました。天候の悪い中だったため、ぬれてしまいましたが、みんなで協力して手早く作業していただいたおかげで、予定より早く終わることができました。ありがとうございました。

今後も、地域と共に取り組む行事を大切にしていきたいと思います。今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。



学校評価（中間評価）について

1学期末に児童・保護者・教職員が行ったアンケートを集約し、結果から今後の取組について話し合いました。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

以下に、大きく成果と課題について載せましたので、今後の教育活動に生かしていきます。また、課題についてはご家庭でもご協力いただきたいと思います。

成果

- 自主的に行動しようとする意識が高まってきている。
- 進んで発表しようとする意識が高まってきている。
- 友達と仲良く協力して生活することができている。
- 思いやりや感謝の気持ちをもって周りの人に接することができている。
- 楽しく学校に通うことができている。
- 将来の夢や希望をもつことができている。
- 進んであいさつをしたり、返事をしたりすることができている。

課題

- ▲進んで運動すること
- ▲体力の低下（特に高学年）
- ▲Chromebook の活用

後期に向けて

- ◇体力面では、意欲をもたせる工夫をしたり、必要性を考えさせたりしながら、継続してスタミナタイムに取り組みます。ご家庭でも、メディア利用時間等の約束を確認したり、手伝いを決め継続して取り組ませたりするなど、ご協力をお願いします。
- ◇Chromebook の活用については、学年の発達段階を踏まえて、さらに活用を図っていきます。家庭での活用等で困っていることなどありましたら、お声を聞かせてください。

10月行事予定

日	曜	行	事
1	土		
2	日		
3	月	全校朝会 校舎外清掃 安全点検日	
4	火	上教研中部地区研究大会 午前授業	
5	水	就学時健診	
6	木	児童総会 就学時健診	
7	金	美瑛町へき複研究大会（会場校：明德小）	
8	土		
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火		
12	水	全校参観日③	
13	木	就学時健診（視力検査）	
14	金	児童会⑨	
15	土		
16	日		
17	月		
18	火	出前授業（6年） 特支保護者面談週間	
19	水		
20	木	職員会議10	
21	金	クラブ⑤	
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水	研修12	
27	木		
28	金	サイバル実験教室	
29	土		
30	日		
31	月	学習発表会会場準備	

《学習発表会・長寿を祝う会について》

新型コロナウイルス感染症は少しずつ落ち着きを見せてきているものの、対策は継続して行っています。「学習発表会」は、日頃の学習の成果を発表する場とし、会場内が密にならないように観客席の距離をとって配置したり、会場内の換気を十分に行ったりするなどの対策を取り、実施いたします。また、会場内に入る人数を制限する方向で進めています。詳細は後日お知らせいたします。ご理解いただきますようお願いいたします。また、先日の分館運営委員会で長寿を祝う会の方向性を決定しました。学習発表会を見ていただいた後、その場で式のみ行い、午前で終了する予定です。ご理解をお願いします。